

「畜産にはハエはつきもの」と考えていませんか？

## ハエの防除対策をお願いします！

蒸し暑い季節の到来です。ハエの発生と活動が活発になってきます。

- ・ハエは生産性を低下させます(家畜へのストレス)
- ・衛生面を悪化させます(病原体の媒介者)
- ・イメージを悪くさせます(近隣からの苦情の原因)

ハエは1匹から1度に100個の卵を産みます。

- ・ハエは成虫になって5日後くらいから産卵し、1度に50~100個を産卵します。
- ・卵から成虫になる期間は、気温20℃で約20日、気温30℃では7日~10日で成虫となり、放っておくと、どんどん増えます！



### ハエの対策

#### ① 発生源対策

- ・清掃を徹底する  
畜舎内外をこまめに清掃して産卵場所(糞尿、たい肥、敷料、飼料残渣など)を作らない
- ・畜舎内の風通しを良くして乾燥させる
- ・畜舎内外に消石灰を散布する
- ・たい肥を完全発酵させる(発酵熱で卵は死滅)

#### ② 幼虫(ウジ)対策

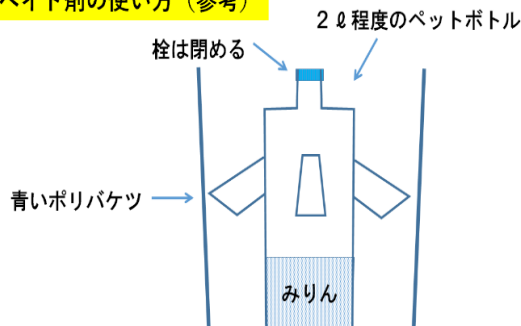
- ・脱皮阻害剤(IGR剤)の散布  
たい肥等の発生源に散布し羽化又は蛹化を阻害  
ウジの発生場所に定期的(1週間間隔)に散布

#### ③ 成虫対策

- ・殺虫剤の散布(下表参照)
- ・毒餌(ベイト剤)の利用  
ハエが集まりやすい場所に設置(右図参照)
- ・防虫ネット(1mm目合)の設置  
※ネットの設置により畜舎に吹き込む風を遮断する可能性があるため、暑熱時に注意が必要です
- ・誘引トラップ(ハエ取りシート、ハエ取り紙)など



#### ベイト剤の使い方(参考)



- ①溶解した薬剤をバケツの内側やペットボトルに吹きかける(塗布)
- ②ペットボトルにみりんを入れる。  
“ハエがバケツの中に面白いように入る”とのこと。

#### 【殺虫剤の種類】

種類	特徴	成虫	幼虫(ウジ)
有機リン系	速効性、遅効性、残効性があるが、耐性ができて効かなくなりやすい。人畜に毒性。	○	○
ピレスロイド系	速効性、除虫菊製剤、人畜への毒性が比較的低い。	○	○
カーバメイト系	速効性、残効性、人に毒性。	○	×

#### (注意事項)

- ・殺虫剤は、正しい用量・用法で使用し、人・家畜への健康被害にくれぐれも注意しましょう。
- ・殺虫剤が家畜の体にかかる場合と休薬期間が必要な場合がありますので、薬剤が生産物や家畜の体などにかからないよう注意してください。

## 畜産クラスター事業では 飼養衛生管理基準の順守が要件になります！

今シーズンの高病原性鳥インフルエンザの多発や、豚熱ワクチン接種農場での豚熱の発生では、飼養衛生管理基準が適切に遵守されていなかったことが発生要因と考えられています。

こうした状況から、国は、家畜伝染病の発生予防対策を強化するため、「補助事業・制度資金における飼養衛生管理基準の遵守を要件とするクロスコンプライアンス（交差要件）の導入」を新たに盛り込みました。

畜産クラスター事業（施設整備事業及び機械導入事業）では、先行して養鶏及び養豚について飼養衛生管理基準に係るクロスコンプライアンスの取組が実施されます。

今後、畜産に関わる補助事業や制度資金においても、クロスコンプライアンスの導入が拡大すると予想されますので、飼養衛生管理基準の遵守の徹底をお願いします。

## マダニが媒介する”重症熱性血小板減少症候群（SFTS）”が過去最多ペースで発生！ 農作業等では首・腕・足肌の露出控える服装で！

国立感染症研究所の公表データでは、今年はいくまでに重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の報告が40例で死者も確認され、注意を呼びかけています。

発生は西日本が中心ですが、3月に静岡県、6月に千葉県で感染を確認、温暖化でマダニの分布の拡大や吸血源となる野生動物増加が一因と推察されています。

気温の高まりでマダニの活動が活発化する季節を迎え、マダニにかまれる危険性が高まることから、マダニ対策を徹底して農作業等を行いましょ。

### 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)

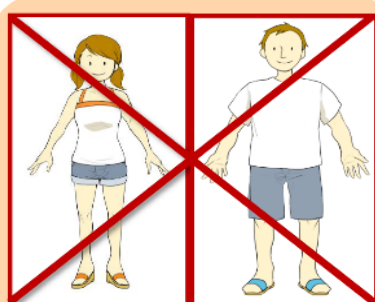
マダニが媒介するウイルス病、感染すると6～14日後に発熱や嘔吐、腹痛などの症状が出る。致死率が6～30%と高い。有効な薬剤やワクチンはない。

13年に国内で初めて報告され、19年は102例、20年は75例、今年はいくまでに47例が確認されている。

（国立感染症研究所 HP より）：<https://www.niid.go.jp/niid/ja/>

### 野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！

首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。

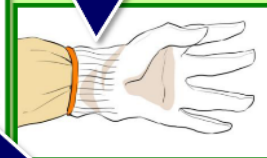


半ズボンやサンダル履きは不適當です！

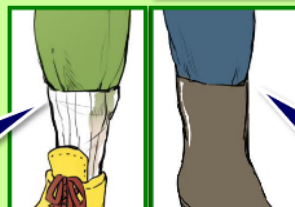
ハイキングなどで山林に入る場合は、ズボンの裾に靴下を被せましょう。



シャツの袖口は軍手や手袋の中に入れてみましょう。



シャツの裾はズボンの中に入れてみましょう。



農作業や草刈などではズボンの裾は長靴の中に入れてみましょう。